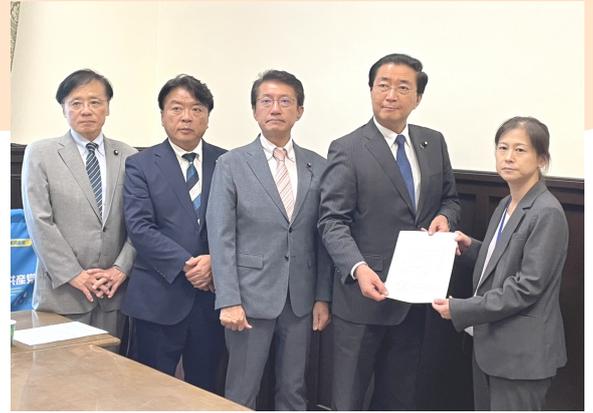


すべての水俣病被害者の 早期全面救済を

日本共産党国会議員団が 環境大臣あてに要請書提出

日本共産党国会議員団は10月8日、すべての水俣病被害者の早期全面救済を求める要請書を環境省に提出しました。

田村貴昭衆議院議員、仁比聡平参議院議員、山下芳生党副委員長・井上哲士各参議院議員が国会内で提出し、環境省の森桂特殊疾病対策室長が応じました。(以下要旨)



10月8日、国会内で環境省に提出

1. 水俣病の臨床研究を続ける医師・研究者・専門家による第三者検証委員会を設置し、制度を抜本的に改めること。
2. 現在係争している裁判は、争いをやめ、司法の場による救済を図ること。
3. 不知火海沿岸・阿賀野川流域に居住歴を有するすべての住民の健康調査を直ちに行うこと。
4. 被害実態に即した補償協定の見直し、ランク付け基準の明確化、生活支援事業の拡充、療養手当の見直し、離島手当の拡充など。

5. 加害企業チッソに対し、加害責任をまっとうし、患者団体・市民に誠実に説明・協議をつくすよう求めること。
6. 国の責任で健康調査、被害者救済をすすめる。関係市町村の国保財政への特別調整交付金の100%交付、健康づくりの取組支援など、被害地域の振興に積極的役割を果たすこと。臨床研究を続ける多くの民間医師・研究者を支援すること。



早期全面救済を
求める田村、山下氏ら

すべての水俣病被害者の早期救済は喫緊の課題 —水俣病解決へむけた提言

日本共産党熊本県委員会が 県に提出、田村貴昭議員が同席

日本共産党熊本県委員会は10月3日、水俣病解決へむけた提言を発表しました。松岡勝県委員長らが、熊本県の水俣病保健課と同審査課に提出、田村貴昭衆議院議員が同席しました。提言は全面解決に向け新たな方策の具体化として以下の項目をまとめたもので、早期救済を求めました。

■蓄積されてきた疫学的、医学的知見に基づく被害者救済と補償制度の確立。■不知火海沿岸(熊本・鹿児島両県)阿賀野川流域(新潟県)の疫学的、疫学的調査の実施。■安心して住み続けられるための環境調査と環境復元、など。



10月3日、提言を県に提出する松岡、田村氏ら。



田村貴昭
ホームページ



総選挙九州・沖縄の
比例名簿登載予定者



沖繩1区重複
衆議院議員8期
あかみね政賢(現)



衆議院議員3期
田村貴昭(現)



鹿児島2区重複
元・鹿児島県議
まつざき真琴(新)



前・沖縄県議
島袋恵祐(新)

比例代表は「**日本共産党**」と政党名で

制度解説

福岡市中央区薬院3-13-12大場ビル3階
TEL092-526-1933
ホームページ <http://kyuoki.starfree.jp/>
発行/日本共産党国会議員団【部内資料】
九州沖縄ブロック事務所

九州沖縄ブロック
事務所ニュース【号外】